

東京体育学会第1回学会大会 ((社)日本体育学会東京支部 第37回学会大会)のご案内

○東京体育学会第1回学会大会

((社)日本体育学会東京支部 第37回学会大会)

会期：平成22年3月6日(土)

会場：東京大学駒場キャンパス数理科学研究棟

入場：無料(会員以外も無料)

内容(予定)：教育講演、大学院紹介、一般研究発表など

一般研究発表発表形式：口頭発表(10分の予定)

(一般研究発表の申込については2頁を参照)

もくじ

- 東京体育学会第1回学会大会開催のお知らせ(1)
- 東京体育学会第1回学会大会一般研究発表演題申込要領(2)
- 平成21年度第2回常任理事会議事録(3)
- 新入会員(5)
- 東京大学駒場キャンパス数理科学研究棟へのアクセス(6)

東京体育学会第1回学会大会 ((社)日本体育学会東京支部 第37回学会大会)における 一般研究発表演題申込要領

発表形式：口頭発表（10分の予定，演題数により変更有り）

演題申し込み〆切：平成22年2月14日（日）

演題申込先： 電子メール：muraoka@idaten.c.u-tokyo.ac.jp

東京体育学会 庶務 村岡哲郎

〒153-8902 目黒区駒場3-8-1

東京大学 大学院総合文化研究科 生命環境科学系 身体運動科学研究室内

東京体育学会 庶務 村岡哲郎

ファクス：03-3219-3427

発表資格：

- (1) 登壇発表者は東京体育学会（（社）日本体育学会東京支部）会員に限る。
- (2) 共同研究者に（社）日本体育学会の他支部会員を含む場合は支部名を明記する（備考1）。
- (3) 共同研究者に（社）日本体育学会未加入者を含む場合は，理由書を添付する（備考1と2）。

発表申込様式：

発表の申込は，原則として，電子メール（muraoka@idaten.c.u-tokyo.ac.jp）で受け付けます。メールタイトルは，「東京体育学会第1回学会大会演題申込」とし，下記6項目を，添付ファイル（テキスト形式またはマイクロソフトワード形式）にてご送付願います。

- (1) 発表演題名
- (2) 発表者および共同研究者の氏名と所属（登壇発表者には○印を付ける）
- (3) 発表者が大学院生か否か
- (4) 東京体育学賞，若手研究奨励賞の審査希望の有無
（東京体育学賞ならびに若手研究奨励賞（大学院生対象）の審査は，審査を希望される方のみを対象として行います。また，審査希望の方には，原則として，翌年度の東京体育学研究への投稿をお願いいたします。）
- (5) 440字以内の発表要旨
- (6) 連絡先住所，電話番号および電子メールアドレス

備考：

- (1) 発表資格の2項及び3項に該当する共同研究者は，大会当日1名につき1,000円を納付する。
- (2) 未加入者については，審査の上，可否を決定する。
- (3) 発表演題の採否と発表部門の決定は，発表要旨に基づいて研究委員会で行う。

大会プログラムの編集上，発表要旨原稿に若干の字句修正をすることがある。

平成 21 年度第 2 回常任理事会議事録

日時：平成 21 年 10 月 9 日（金）18:15～19:15

場所：独立行政法人国立健康・栄養研究所 第一共用会議室

出席者：金久博昭、角田直也、宮地元彦、高橋正則、沢井史穂

<委任状 10 名>

議事に先立ち、角田理事長より挨拶があった。

報告事項

1) 新入会員について

資料に基づき、平成 20 年 10 月 8 日～平成 21 年 10 月 7 日までの新入会員について角田理事長より説明があり、内容が確認された。

2) 東京体育学会 設立記念会（(社) 日本体育学会 東京支部第 77 回研究会）について

資料に基づき、東京体育学会 設立記念会（(社) 日本体育学会 東京支部第 77 回研究会）について角田理事長より報告があり、内容が確認された。

3) 平成 21 年度の東京体育学研究について

資料に基づき、平成 21 年度の東京体育学研究の 10 月 6 日現在の投稿論文審査状況について、取りやめ 1 編に関する事情を含めて角田理事長より説明があり、内容が確認された。

審議事項

1) 平成 20 年度事業報告について

資料に基づき、平成 20 年度事業報告について角田理事長より説明があり、審議の結果、承認された。

2) 平成 22 年度事業計画案について

資料に基づき、平成 22 年度事業計画案について角田理事長より説明があり、審議の結果、1. の「(社) 日本体育学会東京支部 第 38 回学会大会」の記述を「東京体育学会 第 2 回学会大会（(社) 日本体育学会東京支部 第 38 回学会大会）」と修正することで合意がなされ、承認された。

3) 平成 22 年度予算案について

資料に基づき、平成 22 年度予算案について角田理事長より説明があり、北田事務局担当から前年度と予算額が変わっている科目について、広報費が前年度より大幅に削減されているのは郵送からメール配信に切り替えた為であること、その分を支部会報が学会誌になったことによる機関誌の充実と選挙管理費に充てることの補足説明があった。審議の結果、原案通り承認された。

4) 平成 21 年度総会次第について

資料に基づき、平成 21 年度総会次第について角田理事長より説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

5) 東京体育学研究の投稿・編集規定について

資料に基づき、東京体育学研究の投稿・編集規定について角田理事長より説明があり、審議の結果、変更後の文言を「16. 本委員会により訂正を求められた論文は原則として 30 日以内に再提出することとし、指定された期日を超える場合は投稿を取り下げたものとみなす」と下線部分を修正することで合意がなされた。

6) その他

金久会長より、村岡理事からのメール連絡で東京体育学研究に関する検討事項がある旨の説明がなされ、以下の事項が審議事項として取り上げられた。

① 東京体育学研究の巻号について

～巻とするか、～号とするか、また今年度を第 1 巻（または 1 号）とするか、これまでの会報誌からの通し番号にするかについて審議の結果、第 1 巻とすることで合意がなされた。

② 東京体育学研究の表紙について

これまでのように毎年表紙デザインを変えるか、決まったデザインとするかについて審議され、他支部の表紙デザインを参考にした上で女子美大の沢井理事が 11 月末をめどに新しいデザイン案を出すことで合意がなされた。

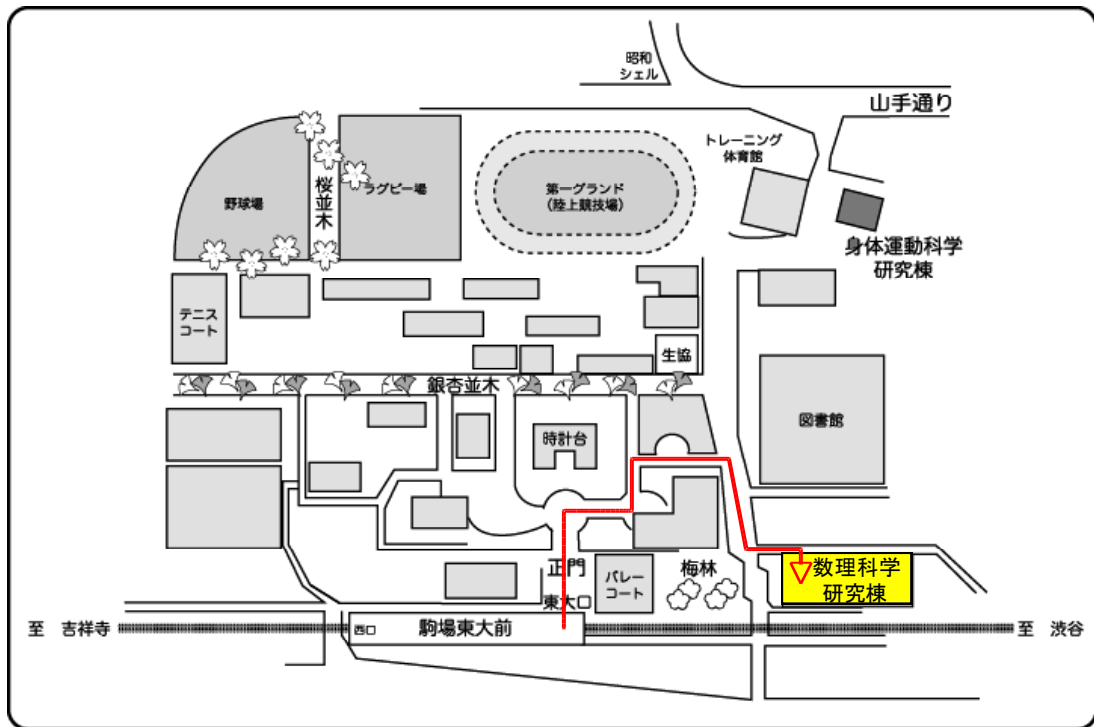
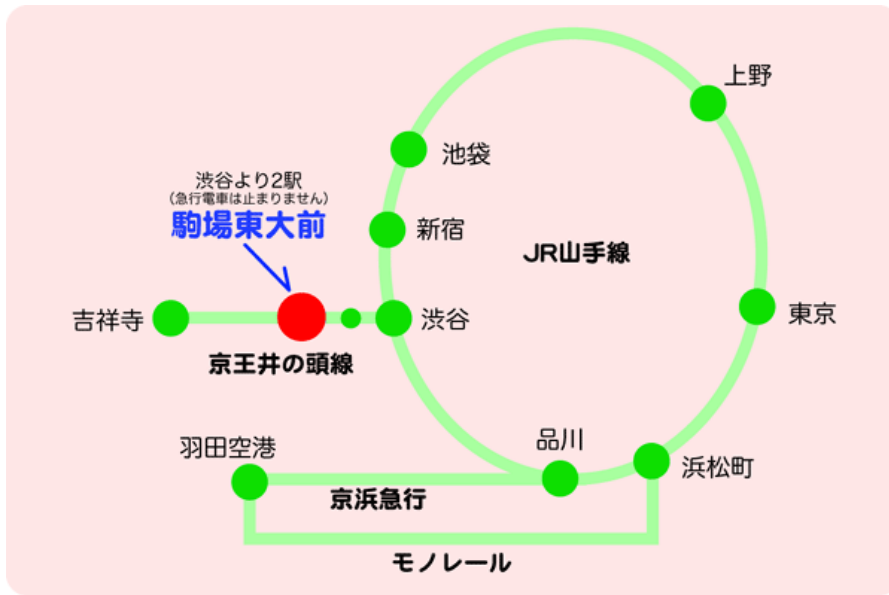
③ 投稿・編集規定の 3 について

「学会大会で学会賞・奨励賞の選考を希望したら東京体育学研究に投稿せよ」としていることと、「東京体育学研究に掲載された論文でも東京体育学研究掲載論文の修正と明記すれば他の学術誌に投稿できる」という規定の是非についての村岡理事からの指摘を審議した結果、この問題はこれまでの経緯について確認する必要があり、3 の規定はとりあえずこのままとし、後日、編集委員会で検討することで合意がなされた。

新入会員（平成 21 年 8 月 25 日～平成 21 年 10 月 7 日）

計 5 名

東京大学駒場キャンパス数理科学研究棟へのアクセス



会報「とうきょう」2009年 第2号

発行日：2009年11月12日，編集：広報委員会

発行人：東京体育学会 会長 金久博昭

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系身体運動科学研究室

e-mail：muraoka@idaten.c.u-tokyo.ac.jp，FAX：03-3219-3427